

なつやすみ

もりまでみえた

かんらんしや

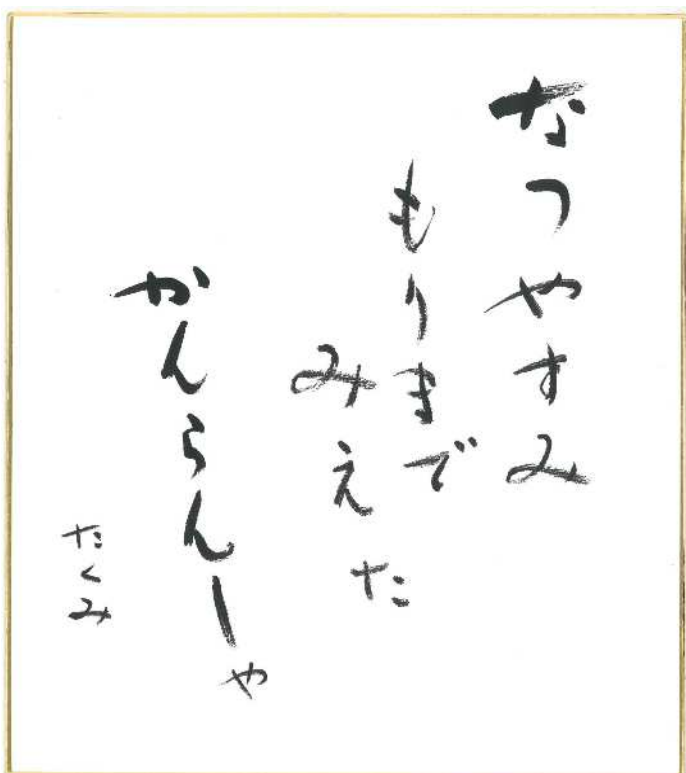
新町小学校 一年生 宮脇 拓己

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

もりまでみえたかんらんしや、でだれもが大きな観覧車が目に浮かぶことでしよう。もしかしたらあの遊園地かな、と具体的にイメージする人もいるかもしれません。楽しい夏休み、家族でお出かけしたのでしょね。素直な表現で、情景の大きさもよくわからいい句です。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

川の上

とんぼのむれが

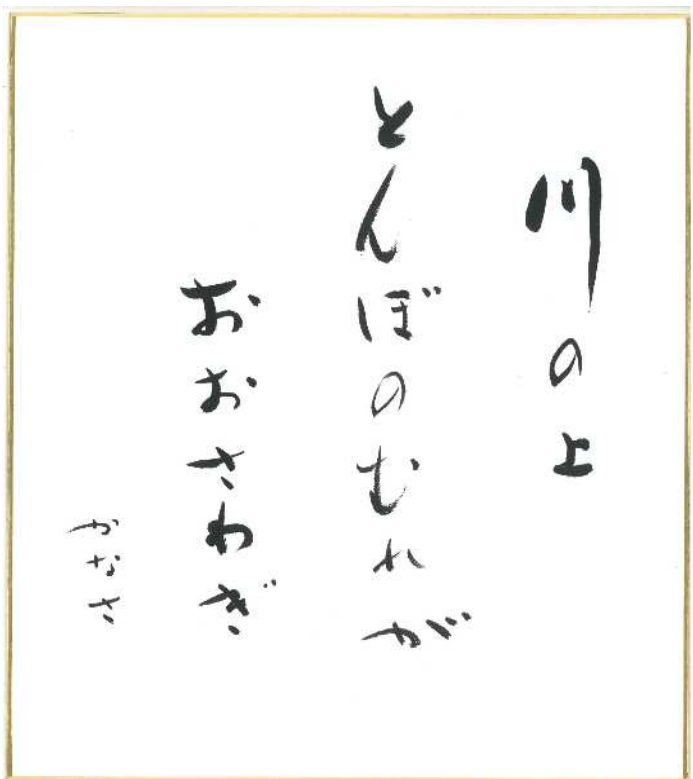
おおさわぎ

河辺小学校 二年生 清水 愛紗

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

ここでのとんぼは、赤とんぼでしょうね。川は多摩川でしょうか。赤とんぼは集団で川の上におれていることがよくあります。川風に乗って集団で向きを変えたりします。外敵でもあったのでしょうか、みるみる群れがみだれておおさわぎしているように見えたのでした。



青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

秋の空

もみじが落ちて

あかいみち

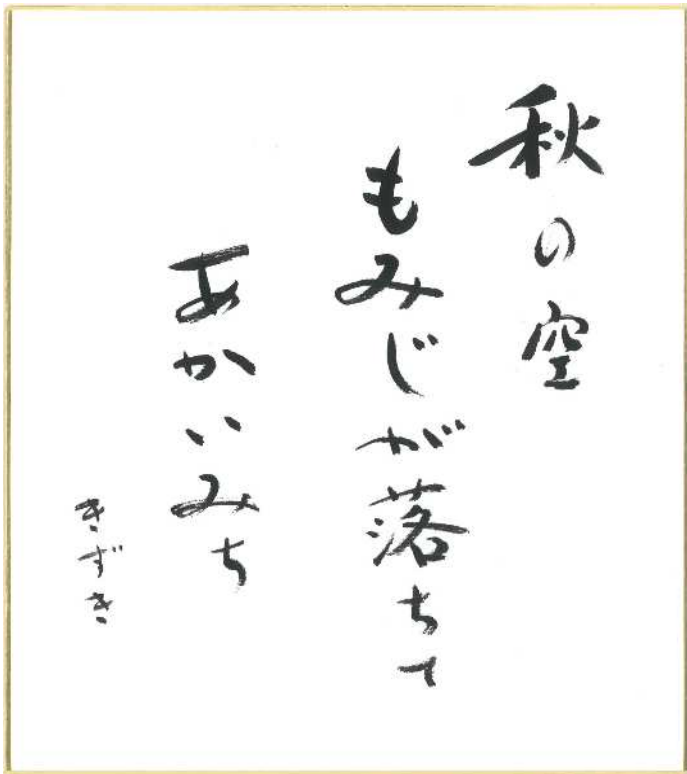
第三小学校 三年生 森田 築

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

里山の道でしようか、川辺の道でしようか。小道が赤いもみじで真っ赤に染まっています。空には秋の青空がいっぱい広がっています。空の青ともみじで埋まった赤い小道です。天の青と地の赤の対照のもとに、さわやかなのそよかぜまで感じさせる句に仕上がりました。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

水くれと

さけびそうだよ

夏野菜

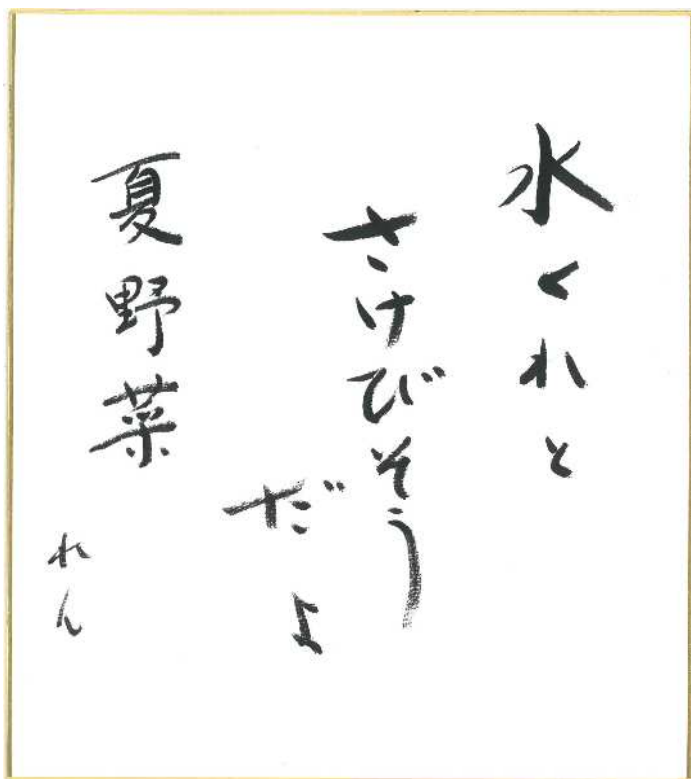
新町小学校 四年生 香川 蓮

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

今年も記録的な暑い夏となりました。外出の時は水筒を忘れないで、と言われたはずです。夏野菜、たとえばきゅうりとかトマトなどは、本来は暑さに強いはずです。そうした夏野菜も、かんかん照りの畑で「水をくれ」とさけびそうだというわけです。面白い視点です。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 栗原会長に
御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

はい線の

トンネル歩き

あせが引く

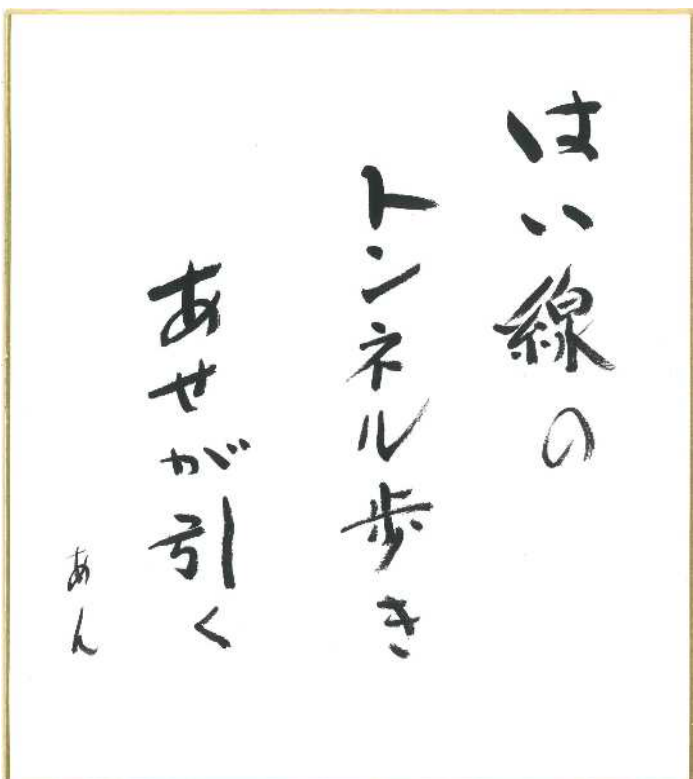
藤橋小学校 五年生 河野 杏

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

廃線を訪ねて歩く、というようなツアーが何かに参加したので
しょうか。線路はもう敷いてない古いトンネルかもしれないですね。
トンネルの外の猛暑とは別世界、ひやっとしていい感じですね。も
しかしたら、トンネル内の何とも言えない怖さから汗が引いた、
とも解せますね。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

たんぽぽが

白くなったら

空の旅

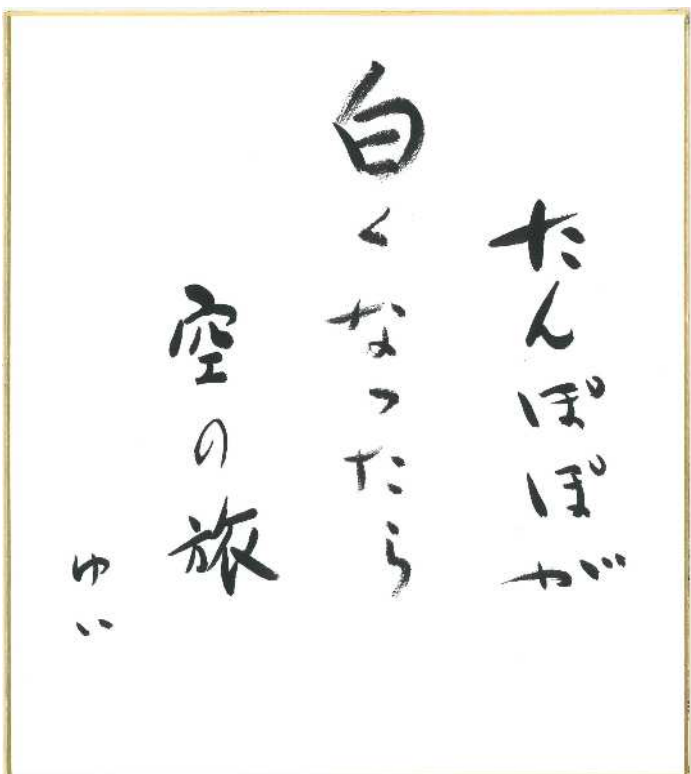
藤橋小学校 六年生 近藤 結衣

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

たんぽぽの絮(わた)を、たんぽぽが白くなったらとした着眼、
そして普通なら絮が飛ぶとしてしまいがちなところを、空の旅
ととらえたところは秀逸です。白いたんぽぽもあるようです
が、ここは黄色のたんぽぽが白くなったら空の旅、とイメージし
ていいと思います。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。